



佐世保市民が胸を弾ませて待ち望んでいた民間放送第一号がラジオ佐世保。「JOMF」のコールサインが真空管ラジオから流れ始めたのは昭和二十九(一九五四年)四月一日。標高一三・五・四メートルの天神山山頂に立つ高さ四十二メートル頂冠式放送アンテナ塔からの電波発信でした。戦後の民主主義を代表する一つが民間放送の認可です。テレビが無い時代、家庭娯楽の大きな部分を占めていたのが日本放送協会のラジオ番組でした。大正十四(一九二五年)年以来の独占が、電波三法の実施で民間放送が生まれ、地方にも「市民のラジオ」熱が高まりました。当時日刊の佐世保時事新聞社社長の辻一三氏がいち早く認可に名乗りを上げたのです。一県一社の建前の中、辻氏は「県北は広く電波が届かない地区が多い」と長崎市に対抗、近い将来の統合を

前提に設立したのです。ラジオ長崎とは昭和三十年に合併、NBC長崎放送として今日に至っています。後年日活映画のスターとなる故二谷英明氏をはじめ、気鋭の新聞ジャーナリストで固めたラジオ佐世保勢は、天神山の「白垂の殿堂」として市民が見上げた局舎から、ネットを組んだラジオ九州の番組や自主番組を放送。軒並み聴取率50%を上回る好調さでした。天神山一帯は、当時一面のイモ畑。タヌキが出没する山林や畑でした。放送局舎は今、市の所有となり、現在は「長崎がんばらんば国体」佐世保事務所、同実行委員会事務局として使われています。ラジオ佐世保放送局舎の進出が契機となって、天神山一帯は住宅開発が進み、市街地と港を一望する山頂は市民の公園となりました。

## 歴史散歩 第五六七回 ラジオ佐世保の局舎 ● 天神五丁目 撮影・文 ● 筒井隆義

## 市長日記 / スポーツの秋到来！ウォーキングから始めてみませんか

ことしの夏は、ロンドンオリンピックのアーチェリー競技女子団体戦で、本市在住の早川漣選手(佐世保商業高校県スポーツ専門員)が見事に銅メダルを獲得。全国高等学校総合体育大会(インターハイ)では、佐世保西高校男子ソフトボール部が全国制覇、全国高等学校野球選手権大会には、長崎県代表として佐世保実業高校野球部が8年ぶりに出場し1回戦を勝利するなど、本市勢が大活躍し、佐世保市民に大きな喜びと感動を与えてくれました。選手の皆さん、関係者の皆さま、おめでとうございます。そして、ありがとうございました。

さて、暑く、熱かった夏も過ぎ、いよいよ「スポーツの秋」の到来です。皆さんもご承知のとおり、スポーツは、健康づくり、体力づくり、仲間づくりなどに良いとされています。また、スポーツは人をつくり、まちをつくるとも言われており、さまざまな面で人に力を与えてくれます。

これまでスポーツにあまり縁がなかった人に1人1スポーツをお勧めします。この秋を機にスポーツを「見る」側から「する」側にシフトし、スポーツに親しんでみませんか? 「今さらスポーツなんて」と思っている方は「ウォーキング」から始めてみてはいかがでしょうか? ウォーキングは、すべてのスポーツの基礎であり、健康づくり、体力づくりの基本であると言われています。



ウォーキング中の朝長市長

私も20年以上ウォーキングを続けており、自分の体験として市民の皆さんにウォーキングを、そしてスポーツをお勧めします。  
佐世保市長 朝長 則男

### 佐世保市の公式フェイスブックページをご覧ください!

フェイスブックの佐世保市役所公式ページは、8月の開設以降、毎日さまざまな情報をお届けしています。市民の皆さんだけでなく、故郷を遠く離れて暮らす方々にもご覧いただき、たくさんの「いいね!」をいただいています。市役所公式ページ以外にも下記の部署の公式ページがあり、随時情報を発信しています。市役所公式ページからリンク(下写真参照)を張っていますので、こちらもぜひご覧ください。

**佐世保市子ども未来部**  
子育てニュースやイベント情報、子育てに関するアドバイスなどを発信しています。  
☎ 子ども政策課 ☎24-1111

**佐世保市港湾部**  
佐世保のみなとづくりの情報を発信しています。  
☎ みなと整備課 ☎25-9353



フェイスブック佐世保市役所公式ページについて  
☎ 情報政策課 ☎24-1111

### 「人の動き」8月1日現在

- 総人口258,439人(-426人)  
男性121,209人(-278人)、女性137,230人(-148人)
- 世帯数105,550世帯(-252世帯)
- ※7月中の動き 転入586人、転出962人、出生204人、死亡254人

### 「人の動き」9月1日現在

- 総人口258,394人(-45人)  
男性121,161人(-48人)、女性137,233人(+3人)
- 世帯数105,598世帯(+48世帯)
- ※8月中の動き 転入759人、転出766人、出生211人、死亡249人
- ※住基法改正に伴うシステムの改修作業のため、9月号に掲載できなかった8月の人の動きを今月号に掲載しています。
- ☎ 政策経営課 ☎24-1111

### させぼ市政だより

- テレビ (毎週土曜)  
NBC・NIB→9時25分~30分  
KTN・NCC→11時40分~45分
- ラジオ  
NBC 日曜 9時25分~30分、FM長崎 火曜 9時5分~10分  
FMさせぼ 火曜 10時30分~35分、日曜 9時30分~35分
- 新聞  
長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ  
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>



携帯サイト

## 徳育通信 ⑦ 人間関係はあいさつから

昨年、ある新聞に「上司が困った新入社員」のベスト4が掲載されていました。

- 1位 あいさつができない、2位 敬語が使えない
- 3位 返事をしない、4位 メモを取らない

この中で、1位と3位は子どものころに両親から「近所のおじさん、おばさんにもちゃんとあいさつをしなさい!」「聞こえたらちゃんと返事をしなさい!」と注意されたものでした。それがどうして成人し就職した大人ができないのでしょうか。

私は「人間関係はあいさつから」と指導しています。数年前、ある中学校で「マナー教室」を実施しました。その時の感想文がとても印象に残りましたので、紹介したいと思います。

「今日はマナー教室があって、その時は『めんどくさいなー』と思っていました。でも、していくうちに楽し

なくなりました。大鳥居先生にはすごく感謝しています。大鳥居先生が、あいさつできない人は友達ができないと言ったとき『ハァー? バカやろ! ありえねー』と思っていました。けれど、きれいなあいさつをした時、友達が100人できそうな気がしました。ぼくは、あいさつ一つで自分もいい気持ちになれるし、相手もいい気持ちになれると思いました」

これは中学2年の男子生徒の感想文です。『人間関係はあいさつから』と指導し続けてきてよかった!』と思った瞬間でした。

佐世保徳育推進会議会員 大鳥居 祥子  
(ソーシャル淳心ファッションビジネス専門学校副校長)

